



新年明けましておめでとうございます。
皆さんに、毎月お届けしています広報紙“なじょしたあ”。おかげさまで平成24年3月の創刊から今年の1月号までめでたく記念の第100号を迎えることができました。
縁あって米沢に避難された皆さんの安心と少しの笑顔に会いたい思いと皆さんから手に取っていただいた時に「いつもありがとう」の言葉があったからこそ100号まで発行することができたと思います。本当にありがとうございます。
100号を記念して特別企画版を作成しました。歴代の生活支援美女(?)相談員からのお祝いのメッセージや懐かしい写真を掲載しましたので是非ご覧ください。 兵庫 博信



3月の予定&救急診療病院

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

救急診療病院

診療科	診療時間	休診日
救急科	24時間	なし
内科	8:00-18:00	日・祭
外科	8:00-18:00	日・祭
小児科	8:00-18:00	日・祭
産婦人科	8:00-18:00	日・祭
皮膚科	8:00-18:00	日・祭
泌尿科	8:00-18:00	日・祭
眼科	8:00-18:00	日・祭
耳鼻科	8:00-18:00	日・祭
歯科	8:00-18:00	日・祭

なじょしたあ Vol. 7

感謝

元気のもと!!

なじょしたあ 100号おめでとうございます。生活支援相談員として一年間と短い間でしたが、なじょしたあ発行に携わり、長年文章を書くことから遠のいていたので漢字1つ思い出すのにも一苦勞でした。色々調べたりと、とても勉強になった一年間でした。日帰り温泉、サロンでは慣れない私を温かく見守って助けて下さり、皆様にはとても感謝しております。大変お世話になり有難うございました。現在も他の部署ですが頑張っております。私自身、避難生活も今年の三月で九十年となり、長かったようであつという間の十年にも感じ、子供の成長と共に悩み事も変化していったように思います。その間、嬉しい事、悲しい別れを経験し、「なんとかなるさ精神」で乗り越えてきました。コロナ禍で不安な毎日ですが、この危機的状況を「福島魂」「米沢魂」で乗り越えていきましょう。 石川 千春



生活支援相談員 初期メンバー

“なじょしたあ” 記念すべき100号とのこと。立ち上げ当初から関わってきた者として、感慨深いものがあります。思えば10年前、全くの白紙の状態からの発行。見知らぬ土地へ避難されて来た方たちが欲している情報は何かを考え、米沢を知ってもらうことから始め、その都度手探りで発行が続きました。次第に内容は変化し、毎号工夫を凝らした内容。米沢を離れた今も楽しみに読ませていただいています。

在職時を振り返ると、私自身避難者でありながら、生活支援相談員としてみなさんにお会いする日々。避難に対して、時に迷い、不安を感じる時もありましたが、逆にみなさんの笑顔、たくましさにも励まされていました。

今後は、支援する側される側の立場なく、「なじょしたあ」と言って気軽に交流できる関係、そして更には「なじょしたあ」と言いながら蒔いた種が別の場所で花開く、そんな未来が来るといいですね。 森 浩子

- なじょしたあ100号の発行、誠にありがとうございます！私が生活支援相談員をさせていただいている時に発行が始まった『なじょしたあ』。右往左往していた記憶がありますが、今こうして100号まで発行できていることが、避難者の皆さまにとって馴染みのある存在になれているんだなあ。と大変嬉しく思っています！
- 現生活支援相談員には避難者の皆さまに、どこまでも寄り添い続けていただきたいと心から願っております。
- 陰ながら皆さまのご健康とご健勝をお祈りしております。
- 戸屋 節子



記念すべき『なじょしたあ』1号!!
ここから『なじょしたあ』は始まった!!



平成24年4月 第2期メンバーがスタート

「なじょしたあ」100号発行おめでとうございます。100号まで続けてこられた事は、読者の皆さんの応援、そして、発行される相談員さん達の努力だと思います。相談員一期生の私達は、震災後間もなくの活動でした。不安しかないまま米沢へ避難された方々へ、どのように接すれば良いのか、どんな風に話を聞いてあげれば良いのか試行錯誤の毎日でした。そんな中少しでも米沢の事をわかってもらえれば、ホッとすることができれば…と言う思いで発行を決めたのが「なじょしたあ」です。訪問ツールとして伺った時にお渡しました。避難者の皆さんに温かく迎えて頂き、私が逆に励ましてもらっていた事を昨日の事のように思い出します。

震災から約10年。皆さんも米沢の生活に慣れましたか？故郷、新しい土地で生活されている方、様々かと思えます。今、コロナ禍で以前の様な普通の生活が出来ない毎日です。目に見えない物の怖さは一番わかっている皆さんです。またぜひ励まし合って元の生活に戻れるよう私自身も気をつけていきたいと思えます。

お身体大事に、また皆さんと再会できるのを楽しみにしております。 土田悦子

H24年6月 『よねざわ ちょっぴり体験ツアー』の写真(^v^)/ たくさんの方に参加して頂きました！



「新年&なじょしたあ100号発行」おめでとうございます！お世話になった皆様、お元気ですか？米沢で温かい方々と触れ合えた事は私の宝物。ふとした時に思い出します。「なじょしたあ」は私が生活支援相談員になる前に創刊され、先輩相談員の思いと米沢の魅力を発信したい気持ちで編集活動を楽しみました。只、発行後の訪問中、新たな行事を教わった時や早く知りたかったとの声をお聞きした時は残念な思いをした記憶があります。これからもお知らせしたい情報がございましたら是非、生活支援相談員に早めに教えてください。皆様にとって幸多い年になりますことを山形市よりお祈り申し上げます(-)/ 岡 由紀子



- ☆在職期間
- 森 浩子：平成24年1月～令和1年3月（8年間3ヶ月）
 - 岡 由紀子：平成24年4月～平成31年3月（7年間）
 - 戸屋 節子：平成24年1月～平成25年3月（1年3ヶ月）
 - 土田 悦子：平成24年1月～平成25年3月（1年3ヶ月）
 - 石川 千春：令和1年4月～令和2年3月（1年間）





“町のお地蔵さん”（健康一口メモ）

やまいとともに生きる、健康に生きる一支援者として

Dr. 小林恒司

病気ばかりではなく、震災も、コロナ禍も共通する事ですが、人生が別の軌道にうつされてしまうことがあります。これまでの生活のスタイル、生き方が通用しなくなり、自分自身が問われ、無力感に打ちひしがれる。受容という言葉がありますが、そういう現実を完全な形で受け止められる人間などいません。そういう現実をしょうがないと受け止めるしかない所で、生きる方に何とか手を伸ばそうとしている。

誰にも知られないところで、「苦」「空虚感」「無意味感」に打ちひしがれている人々は意外と少なくないのかもしれない。それでも生の方に伸びていこうとする手がそこにある。そこには、どんな状況下にあっても、生を信じ、肯定させる知恵のようなものが働いていると感じさせられることがあります。

患者さんから「生を絶対視する見方はおかしい。それを人に押し付けるものおかしい。」とおしかりを受けることがあります。「俺の苦しみを分かってそういつているのか」と言いたいのだと思います。しかし、その本人にもその知恵は働いている。生に向かって伸びていく手を感じます。

その知恵に出会う契機は人それぞれですが、一般化すると、非現実的な希望、期待を捨て去って、現実に対して逃げも隠れもしないという覚悟、その覚悟が、「ここから始められる、ここから始めればいいんだ」という知恵と自己に出会わせてくれる。そういうことなのです。

しかし、この知恵に出会うためには、本人だけの片輪走行では難しいのです。その人の現実そのままに向かい合う、そしてその現実の重さにふさわしい強度で向かい合う他者があればこそ、その知恵との出会いを助けることができる。それが支援者の本当の姿なのです。

。（先生からのお祝いメッセージ）

おめでとうございます。百里の道も一歩からとは、名言ですね。

なじょしたあ 100 回記念お疲れ様です。震災を生きてきた人々と共に歩む 10 年、それに比べてウィズコロナという言葉のなんと軽いことか。人々の心の中に震災のメッセージを聴く 10 年誰かが見ていると思います。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、未だ収束の兆しが見えていません。避難者支援相談事業の交流イベントも滞っている現状化、皆さん楽しみにしていると思いますが新型コロナウイルス感染症の収束の目途がたたない状況です。皆さんも日頃から体調管理には十分に気を付けて元気にお過ごし下さい。

また、イベント企画の提案等、協力頂ける方を募っていますので宜しくお願い致します。

☆最後に、なじょしたあをいつもご愛読いただきありがとうございます。今回なじょしたあ 100 号記念版を作るにあたり、今までのなじょしたあを読み返し、本当に多くの情報、多くの出来事、そして、多くの方々の支え・協力があつたことを改めて思い出しました。感謝申し上げます。なじょしたあ 100 号記念版も楽しんでいただければ幸いです。

『今年も生活支援相談員を、どうぞ宜しくお願い致します！』 島貫 守



なじょしたあ

祝

100号記念版



島貫 守

平成 24 年 1 月～



井上 光

令和 2 年 4 月～



兵庫 博信

平成 24 年 4 月～

米沢市社会福祉協議会 生活支援相談員